

途上国支援

途上国のトイレを改善する プロジェクト／NEXT DOOR Project

株式会社LIXIL

人に寄り添ったトイレの改善・支援を実施

・途上国には、排せつは野外、夜間はビニール袋への排せつ・屋外投棄という公衆衛生インフラ未整備地域が存在。そのような地域では、降雨により汚物が家屋内に浸入し感染症が蔓延するなどの事態があった。また、野外排せつ、屋外トイレの夜間使用は性暴力リスクにもさらされる。・そこで「途上国のトイレを改善するプロジェクト」では、①「無水循環型トイレ」整備、②(株)LIXILが開発した節水で臭いや虫に対応した「Safe Toilet pan(SaTo-pan)」寄贈、③学校トイレの改善(ケニア、中国、インド等)という3つの方策を実施(上記①②で世界9か国約300万人のトイレ環境を改善。排せつ物の堆肥化で現地の農業生産性向上にも寄与)。

・また、「NEXT DOOR Project」では従業員の自主的活動により、上記活動を行っている国・地域の子供への生理用品・生理教育の提供も実施。

●活動地域：ケニア共和国(ナイロビ市ムクルスラム)他

🇯🇵 日本トイレ大賞

●途上国のトイレを改善するプロジェクト



ケニアのトイレの現状



SaTo-pan



●NEXT DOOR Project



アフリカにおける エコサントイレの建設

公益社団法人 日本国際民間協力会 (NICCO)

衛生環境・土壌改善に効果のあるエコサントイレ

・活動地域には、土地の過剰使用による農業生産性の低下、非衛生な尿管理による健康被害、そしてこれらによる貧困の問題があった。また、生活用水の流入でビクトリア湖の水質汚染も深刻に。

・野外排せつ、もしくは地面に穴を掘っただけの落下式トイレを使っていた同地域に、し尿分離型環境衛生式トイレ(エコサントイレ:エコロジカル・サニテーション・トイレ)を建設。(マラウイ共和国では、7年間で約1,000基建設)。

・排せつ物を衛生化し、便を堆肥として、尿を液肥として利用。これらの堆肥により、持続的に農業生産性を向上。また、人々は化学肥料を買う必要がなく、支出の抑制が可能。

・持続的に衛生的なし尿処理が可能。

・衛生環境改善意識を促す活動も実施。

・現地で手に入る材料で現地の人が建設でき、持続可能。

●活動地域：マラウイ共和国(ンコタコタ県、ドーワ県、リロングウェ県)、ケニア共和国(カカメガ郡)

🇯🇵 日本トイレ大賞

ソロモン諸島における 環境配慮型トイレ普及事業

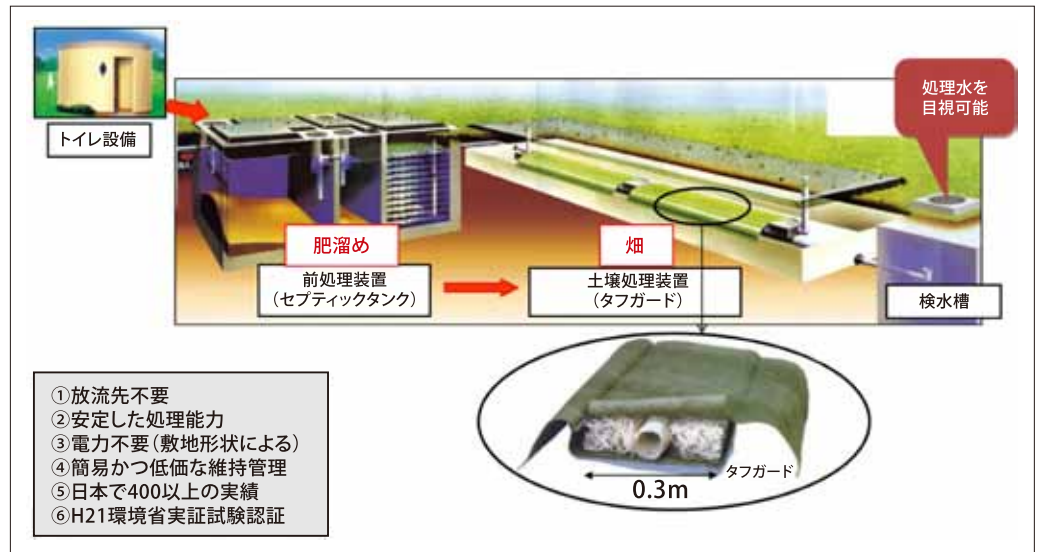
オリジナル設計株式会社

環境配慮型トイレを通じ 街全体の衛生環境の改善へ

・環境配慮型トイレTSS(Taisei Soil System)の導入によりソロモン諸島ホニアラ市の衛生環境を改善。ホニアラ市では、人口増加・野外排せつにより、水環境汚染、健康被害、漁業・観光への悪影響が発生していた。

・TSSは、「タフガード」という繊維状の素材などを用いた無電源・無放流の土壌処理・蒸発散方式の処理システム。未処理排水の地下水浸透を止め、排水を蒸発散させて減らし、セプティックタンク(前処理装置)に溜まる汚泥は、定期的に引抜きを実施。

●活動地域:ソロモン諸島ホニアラ市 ●備考:大成工業(株)、一般社団法人 日本環境衛生センター、日本・ソロモン友好協会、埼玉県と協力して実施



地域生活改善のための トイレ建設プロジェクト

特定非営利活動法人 日本水フォーラム

女性の自由・ プライバシーを守るトイレ

・野外排せつが多いスリランカのある地域において、トイレ建設と意識啓発を通じ、衛生環境や生活環境を改善(50世帯に50基のトイレ設置)。

・取組前は、野外排せつにより、女性の自由やプライバシーの確保、不衛生などの問題があった。

・トイレ建設での物資調達を工夫したほか、住民組織の組成を支援し、積立金制度などトイレの維持管理等に関する話合いが実施されるよう意識啓発に注力。

・こうした活動で得た情報は、「アジア・太平洋水サミット」等を通じ、各国の水に関する問題の優先課題化に向けた政策提言としても活用。

●活動地域:スリランカ(ウバ州バドゥッラ県ウェリマダ地区) ●備考:特定非営利活動法人 日本水フォーラムが運営する「ダルピッシュ有 水基金」のプロジェクトとして実施